

飛騨古川池田農園(農業・飛騨市)

従業員が希望する時間帯に働いてもらうことで、生産量を2倍にした農業経営

- ・ 繁忙の波が激しいが、労働時間など柔軟に作業できる農業の特徴を捉え、時間に制約のある従業員を上手く活用
- ・ 従業員を柔軟に活用することにより、農園を拡張し、作物の生産量を2倍に増やす
- ・ 体験マッチングサイトなど多くの方に農業を体験してもらう取組みも実施

飛騨市古川町の山あい位置する飛騨古川池田農園は、トマト、スナップエンドウといった野菜の栽培に加え、イチゴ狩りなどの観光農園を営んでいます。

岐阜市で造園の仕事をしていた池田俊也^{いけだ としや}代表が、平成25年に故郷に戻って、新規に農業を始めようと考えていた当時、家族だけでは人手が不足することが予想される一方で、従業員を雇うのであれば、秋冬の閑散期の仕事も確保し、年間を通して給与を支払い続ける必要があり、フルタイムで従業員を雇用する余裕は無いという悩みを抱えていました。



飛騨市にある飛騨古川池田農園

短時間なら働きたい人が集まる場所に

そんな中、池田代表は「フルタイムで働くつもりはないが、生きがいや健康維持を目的に働きたいという高齢の方が地域にいらっしゃる」という話を耳にしました。農業は、繁忙の波が激しいものの、ビニールハウスのシート交換など、一度に人手が必要な一部の作業を除いては、比較的柔軟に作業を行うことが可能な業種です。



収穫作業の様子

そこで、1日3時間で週3日、その方の都合の良い時間に働いてもらうことにしました。その後、この話が口コミで広がり、子育て中の女性で、9時～15時の勤務時間で働きたいという方や、子育てを終えたので短時間なら働きたいといった方が池田農園に集まるようになり、本人の希望で勤務時間を決めて作業を行うことになりました。

本人の希望に合わせて好きな時間に勤務

従業員の中には、気温が高い日中の時間帯を避け、早朝の時間帯に働く方や、逆に朝は苦手なので、昼間に働くという方もおり、本人の希望やライフスタイルに合わせて好きな時間で働いています。また、ダブルワークとして、朝5時から1時間だけ池田農園でトマトの手入れなどを行い、その後また別の仕事場に勤務される方もいます。

勤務時間が各従業員で異なるため、従業員への連絡や指示は、池田代表がスマートフォンのコミュニケーションアプリを活用して行います。それにより、農場に皆が集まって、情報共有や指示を行う必要がなくなり、随時、情報共有を図りながら、従業員はスムーズに作業に入ることができます。

「子育て中の方など、仕事を生活の中心に置けない方に、本人の都合に合わせて働いてもらうことにより、フルタイムの従業員を雇わなくても、規模の大きい農園を運営することが可能になっています」と池田代表は語ります。



子育て中の方も都合に合わせて勤務

生産量は就農当初の2倍に拡大

繁忙期には最大約20名の従業員がそれぞれ希望する時間帯に作業を行っており、従業員の都合の良い時にサポートしてもらうことで、現在では、就農当初の2倍の栽培面積に農園を拡張し、生産量も2倍に拡大しました。「家族だけで農園を切り盛りしていたら、今の規模にはならなかったと思います」と池田代表は振り返ります。

農業の楽しみを知ってほしい

さらに、池田農園では数年前から、飛騨市が運営する「ヒダスケ」（手助けを求める飛騨市の事業者と手助けをしたい全国の方々をマッチングする取組み）や民間事業者が運営する体験マッチングサイトを活用し、例えば、除草作業をしてもらった方に、除草した草と同じ重さの訳ありトマト（形などが不揃いで出荷には適さないが、食用としては問題が無いもの）と交換するなど、楽しみながら作業してもらい、地域の方にも触れあってもらう取組みも行っています。

「『農業は楽しい』ものであり、農業を趣味としている方も多くいることから、農業を副業などでやりたいと思っている方は必ずいるはず」と語る池田代表。観光農園や「ヒダスケ」などの取組みを通して、より多くの方に農業の楽しさを知ってもらいたいと考えています。

【従業員の声】

9時～15時の時間帯で勤務しています。自分の予定に合わせて勤務時間を調整することができ、当日の急なお休みにも対応してもらえるため大変助かっています。もともと農作業が好きということもあり、一日の作業を終えた後は心地良い充実感でいっぱいです。

【飛騨古川池田農園】 (<https://www.ikedanoen.com/>)

所在地：飛騨市古川町黒内531-11

従業員：29名（うち家族3名、パート26名）

設 立：平成25年

（令和7年8月末時点）